

デジタル一眼カメラ購入に関する意識調査

デジタル一眼カメラは小型の時代 過半数以上が小型一眼の購入を検討！

～デジタル一眼カメラの選択に大きな変化の兆し～
若年層、ファミリー層に加え、シニア層の購入意向でも60.2%と高い結果に

既存のデジタル一眼レフカメラに加え、近年シェアを大きく伸ばしている小型(ミラーレス)一眼カメラ。2012年1月には小型一眼カメラが初めてデジタル一眼レフカメラとのシェアを逆転しました^(※1)。各社の小型一眼カメラの新製品が出揃い、年末商戦を控え、ソニーマーケティング株式会社は20代～60代の男女(1,500名)にデジタル一眼カメラの購入に関する意識調査を実施いたしました。

(※1) 出展:「BCNランキング」2009年～2012年9月<最大パネル>

【調査結果サマリー】

■ 次に購入するデジタル一眼カメラは小型(ミラーレス)一眼！

購入を検討しているデジタル一眼カメラとして、小型一眼が58.1%と過半数以上の数字を獲得し、今後のデジタル一眼カメラ市場のシェアを反映するような結果が出ています。デジタル一眼レフカメラの魅力的なポイントとして挙げられるのが「高画質」。一方で大きい、重いなど「サイズ」が不満に感じられています。今回の調査では小型一眼の魅力的なポイントとして、持ち運びしやすいコンパクトな「サイズ」に次いで、「高画質」もポイントとして挙げられました。通常相反する2つのポイントが小型一眼では支持されているのは、デジタル一眼レフカメラと同等のAPS-C規格のイメージセンサーを採用する小型一眼が市場が増えてきたことが、消費者にも浸透していると考えられます。

■ 若年層、ファミリー層に加え、シニア層も小型一眼を牽引！

今回の調査結果を「若年層(20代～30代)」、「ファミリー層(子持ち)」、「シニア層(50代以上)」と3カテゴリーに分類してみると、小型一眼の購入検討層の中で最も高いのは、以外にも「シニア層」60.2%という結果に。中でも、60代以上の男性は全体と同等の58.0%でしたが、女性が70.7%と全体の数字を大きく上回る結果となり、アクティブシニアと呼ばれる層にも高画質でコンパクトという小型一眼の親和性の高さが伺える結果となりました。

■ 「若年層」、「ファミリー層」、「シニア層」の
小型一眼カメラ購入のポイントは？

「画質」、「サイズ」は、小型一眼カメラ購入のポイントとして各世代が1位、2位に挙げる、共通するポイントとなっていることが分かります。調査結果を見てみると、「画質」、「サイズ」以外で重視する傾向として、各カテゴリーの違いが見られる結果となりました。

<各カテゴリーが重視する機能の傾向>

◇若年層:「ネットワークとの連携」

まだカメラの機能として一般的になってきていない、「ネットワークとの連携」について、16.2%とファミリー層(13.8%)、シニア層(10.2%)よりも高い結果となりました。

◇ファミリー層:「オートフォーカスのスピード」

全体の数値より「オートフォーカスのスピード」が上回る結果となり、子どもが見せる一瞬の動きや表情を押さえたいというファミリー層の気持ちが伺えます。

◇シニア層:「レンズのラインアップ」

40代以降の男性が小型一眼購入のポイントとして「レンズのラインアップ」と回答。画質など、デジタル一眼レフと同等の性能を持っていても、より撮影の楽しみを増やすレンズの種類の拡充が期待されているようです。

図1.購入を検討しているデジタル一眼カメラはどちらですか?(n=1500)

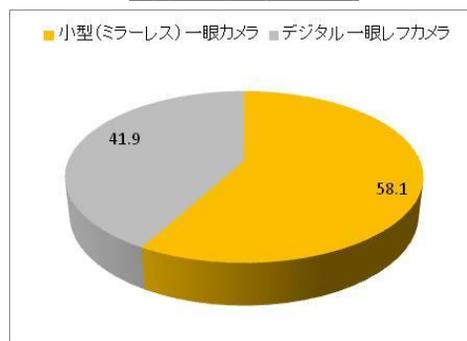
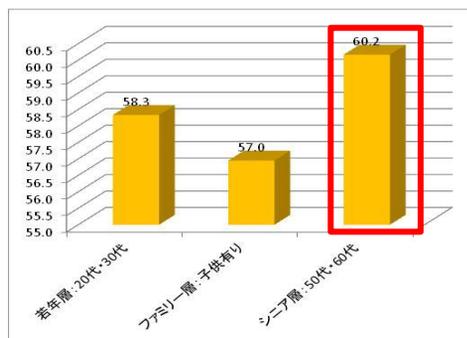


図2.カテゴリー別小型(ミラーレス)一眼カメラ購入意向者(n=870)

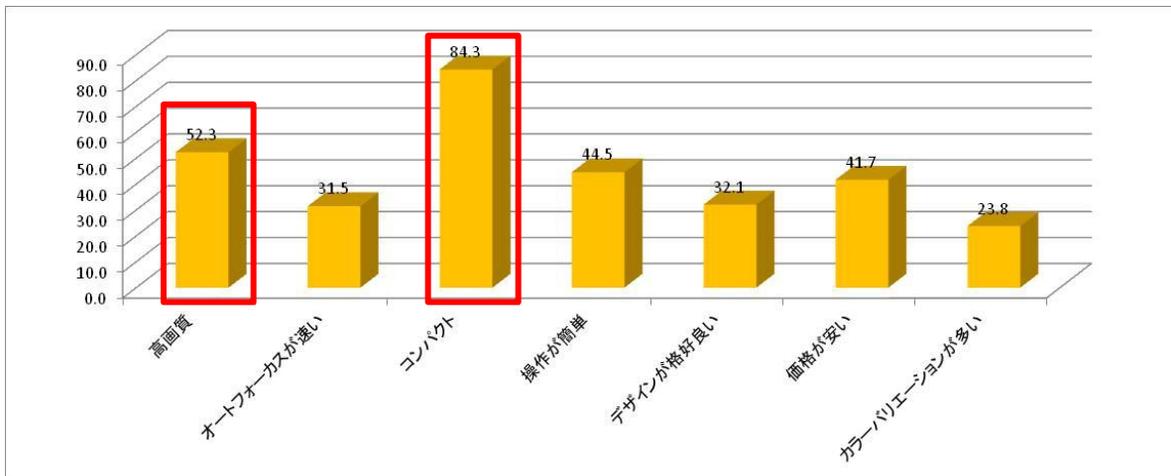


小型一眼購入のポイントは「コンパクトサイズ」&「高画質」!

今回の調査で小型一眼の購入意向が高いのが結果として出ましたが、小型一眼の魅力として、「コンパクトなサイズ」84.3%に次いで、「高画質」52.3%が大きなポイントとなっているようです。この質問は小型一眼購入意向者だけではなく、デジタル一眼レフ購入意向者も含まれていますので、50%以上の方が、小型一眼カメラを「高画質」と認識しているのではないのでしょうか。

また「若年層」、「ファミリー層」、「シニア層」に分類しても、「コンパクト」1位、「高画質」2位は変わらず同じで、小型一眼が、ただ小さいだけではなく、満足いく画質が備わっているという意識が購入意向者の中でスタンダードになってきているのではないのでしょうか。

図3.小型(ミラーレス)一眼カメラに対してどのようなところが良いと思いますか?(n=1500)

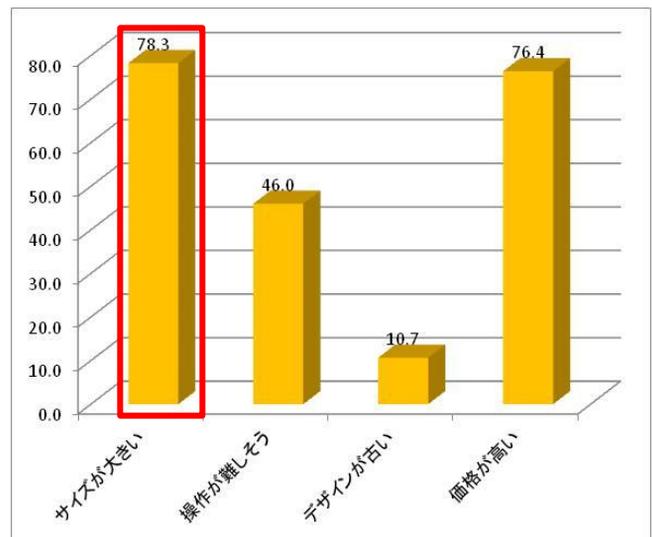


デジタル一眼レフカメラの不満点を見てみると、「サイズの大きさ」が78.3%と最も多い結果になりました。一方、小型一眼の不満点では、「画質」に関する不満は下位の結果となっており、「レンズの少なさ」が不満の1位となっております。

こちらの結果から、小型一眼カメラがデジタル一眼レフカメラの画質と比較して劣っていると感じている購入意向者が少ないこと、そして小型一眼カメラを使って、レンズ交換の楽しみを期待する購入意向者が多いことが推察できるのではないのでしょうか。

デジタル一眼レフカメラの持ち運ぶのにサイズが大きいという不満点を、小型一眼はそのコンパクトさで解決しました。さらにコンパクトに加え、高画質を兼ね揃えたデジタル一眼カメラとして認識されています。スペックに差が無いのであれば、デジタル一眼カメラ購入意向者は小型一眼を選択し、さらにはデジタル一眼レフカメラと同様にレンズの交換を楽しみながら使用したいという意向が今回の調査から浮き彫りになりました。

図4.デジタル一眼レフカメラに対して不満に思うところはどのようなところですか?(n=1500)



【調査概要】

デジタル一眼カメラの購入に関する意識調査

□調査期間：2012年10月27日(金)～10月29日(日)

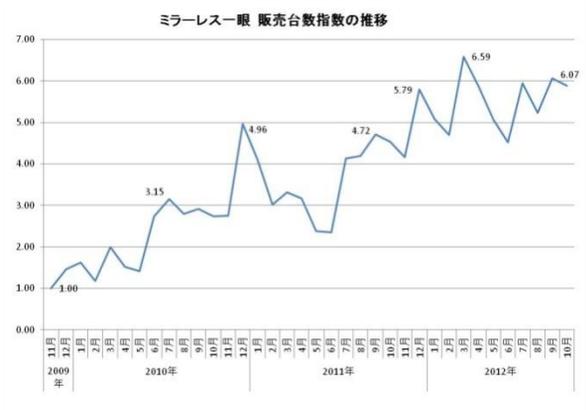
□対象：全国男女1,500名(社会人、主婦)

□年齢：20代/30代/40代/50代/60代以上

□方法：インターネットによるアンケート回答方式(楽天リサーチ株式会社)

今後のデジタル一眼カメラ市場について

今、デジタルカメラ市場で最も元気なのはミラーレス一眼市場。レンズが交換できるため幅広い表現力を持ちながら、これまでの一眼レフにくらべて小型・軽量。気軽にいい写真が撮れるのが特徴だ。小さなボディに一眼レフ顔負けの機能を搭載した製品が多い上、カラーバリエーションも広がって、女性ユーザーの増加も著しい。2009年11月の販売台数を1とする販売指数は、2012年10月には5.9と、3年前に比べほぼ6倍以上の市場規模に拡大。人気の程が伺える。



スマートフォンの台頭で、日常的に写真を撮る機会は飛躍的に増えている。その反面、思い通りに撮れない「ガッカリ写真」も増えているのが現状。手軽によりよい写真を撮りたいというニーズは高まっている。例えば、暗い場所でもノイズの少ない写真が撮れる、動きの速い被写体もブレずにしっかり捉えることができる、といった機能だ。撮りたい対象はクリアに、それ以外の部分をふんわりとぼかして撮りたいという一歩進んだニーズも多い。こうした要望をかなえるキーポイントは、撮像素子の大きさだ。大きい撮像素子を採用すれば暗い場所や動きの速い被写体の撮影に威力を発揮するうえ、ぼけを使った写真も撮りやすくなるからだ。



コンパクトカメラで代表的な撮像素子のサイズは1/2.3インチ。小指の爪ほどの大きさしかない。一方、ミラーレス一眼を広めたマイクロフォーサーズ規格は、1/2.3インチに比べ面積で約8倍と大ぶりの撮像素子を搭載している。さらに一般的な一眼レフが採用するAPS-C規格の撮像素子は面積比で約12倍と非常に大きい。一眼レフの画質の高さはこの大きさの撮像素子だからこそなのだ。ソニーのミラーレス一眼、NEXシリーズはそのAPS-Cセンサーを搭載することで高画質を実現している。ファインダーや背面液晶の反応スピードも高速で、一眼レフの使い勝手に迫る。レンズ交換型のデジカメに占めるミラーレス一眼の販売台数構成比でも、2012年10月には48.2%とほぼ半数を占めるまでに拡大した。普段使いで高画質を求めるなら、ミラーレス一眼は一眼レフにほぼ並ぶところまで来ていると考えていいだろう。



BCNエグゼクティブアナリスト・データマーケティング部部长
道越 一郎氏

早稲田大学法学部卒。1989年、株式会社日本リサーチセンター入社。マーケティング研究本部で雑誌・書籍の編集を担当しながらネット調査事業の立ち上げに参画。サイト視聴率分析、ブランドスイッチ分析を担当。2005年、BCN入社。PC・デジタル家電ランキングサイト「BCNランキング」編集長を経て、2009年に現職。POSデータベース事業「BCNランキング」を統括すると同時に、BCNランキングデータを用いた市場分析を行うアナリストとしても活動。

カテゴリーごとのデジタル一眼カメラ購入に関するポイント

【若年層】

デジタル一眼カメラをビジュアルコミュニケーションのツールとして活用！

SNSが一般的なコミュニケーションツールとなり、スマートフォンが普及したことも相まって、特に写真を用いたSNS上のコミュニケーションが盛んに行われています。調査結果からも、特に20代の女性は「SNSやブログに写真の投稿経験がある」が92.3%と全体値よりも大きく上回る結果となり、写真を記念に残しておくものから、ソーシャルメディアを通じて共有する、ビジュアルコミュニケーションが定着しているといえるのではないのでしょうか。

またカメラで撮影する機会が増えたキッカケとして、「SNSなど写真を共有する機会が増えたから」と回答したのは若年層が45.7% (次ページ図7) と各世代の中でも最も多い結果となっています。

デジタル一眼カメラでの撮影後、「写真をどうしますか？」という質問に対しては、「SNSにアップする」と回答した割合の中でも若年層が他の世代よりも高い結果となりました。ビジュアルコミュニケーションにおいて、スマートホンのクオリティーに満足できず、高画質で、ボケ味などの表現力の高い写真を共有したいという考えが若年層には芽生えはじめているのではないのでしょうか。

図5. SNSやブログに写真を投稿したことがある(n=752)

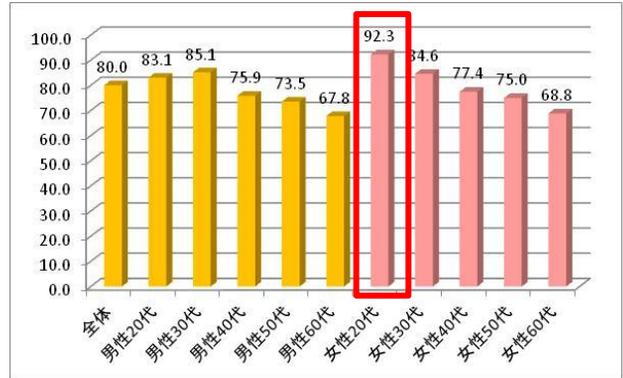
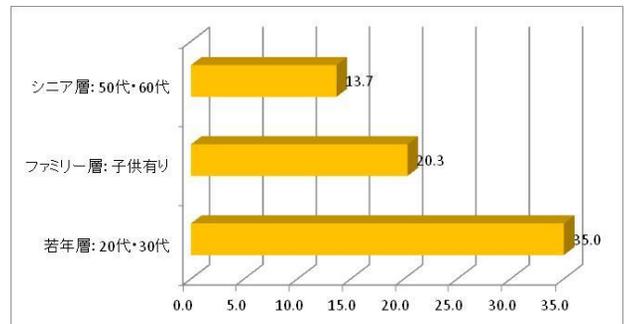


図6. デジタル一眼カメラで撮影した写真をSNSにアップする (全体n=1500/シニア層n=600/ファミリー層n=669/若年層n=600)



今後若年層の小型一眼カメラ購入の決め手は、ネットワーク機能！？

また若年層が小型一眼に求める機能に関しても、全体同様、「画質」、「サイズ」が多い中、まだカメラの機能として一般的になってきていない、「ネットワークとの連携」(次ページ図8)について、16.2%とファミリー層(13.8%)、シニア層(10.2%)よりも高い結果となっています。今後、小型一眼カメラの機能の中で、ネットワークとの連携は重要視される可能性は高いのではないのでしょうか。

若者たちを中心に、スマートフォン×ソーシャルメディアという組み合わせは当たり前ものになりつつあります。つまり、リアルタイムに、どこからでもソーシャルメディアにつながっているのが現代の若者たちの置かれたコミュニケーション環境なのです。ソーシャルメディアの普及によって、情報が早く、広く流通するようになったのはもちろん重要な変化なのですが、それ以上にコミュニケーションの変化です。若者たちと話して感じるのは、その根底にある「表現」と「共有」への欲求です。自分らしさを「表現」し、それがソーシャルメディア上で「共有」されると、自分が承認されたように感じ、そこに価値を見出す若者たちは少なくありません。このような「表現」と「共有」において、写真は文字以上に有効な手段になっています。

例えば、「Instagram」から「漫画カメラ」に至るまで多種多様な写真加工アプリ、一眼カメラに興味を示す「カメラ女子」の登場などは、「自分らしい写真」を撮ることに関心が高まっている風潮を示していると言えます。さらにPinterestが示すように、写真そのものによる「つながり」(ビジュアル・コミュニケーション)の時代もそこまで来ています。

そういった意味で、若者たちはカメラに対して、いつでもどこでも、というのはもちろんですが、単に記録としての写真が撮れば良いということではなく、自分らしさを表現し、共有してもらえよう写真を撮れるか、といったことも求め出しているのです。



実践女子大学
人間社会学部准教授 (専門はメディア論、若者論、学習論)
松下 慶太氏

実践女子大学人間社会学部・准教授。専門はメディア論、学習論。近年はソーシャルメディアと若者のコミュニケーションについて「就職活動」をフィールドに調査・分析を行なっている。また女性のキャリアを考えるワークショップ・プロジェクトも主催している。

カテゴリーごとのデジタル一眼カメラ購入に関するポイント

【若年層】

図7.以前と比べてカメラで撮影をする機会が増加したのは、SNSなど写真を共有する機会が増えた為(n=990)

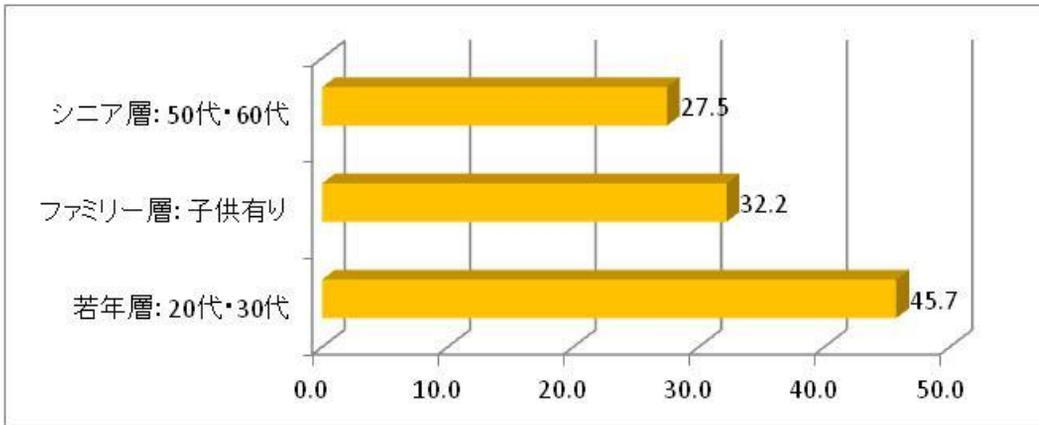
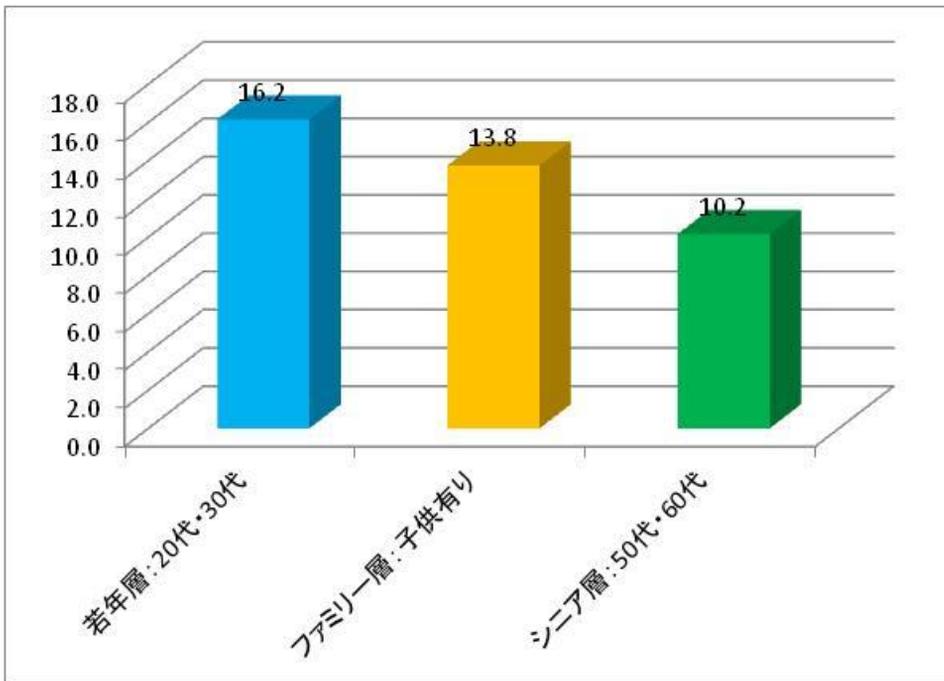


図8.どのようなポイントがあれば小型(ミラーレス)一眼カメラを購入したいと思いますか？
ネットワークとの連携と回答(全体n=1500/シニア層n=600/ファミリー層n=669/若年層n=600)



カテゴリごとのデジタル一眼カメラ購入に関するポイント

【ファミリー層】

“ハレの日”だけではなく“日常”もこどもの成長を追い掛ける重要な撮影シーン！？

ファミリー層のデジタル一眼カメラでの撮影目的は、やはりこども。こどもの成長をデジタル一眼カメラでキレイに残したいというパパママが、従来の一眼と比べ、サイズの小さいエントリー一眼を片手にこどもの「運動会」や「旅行」などの“ハレの日”をカメラで押さえることは当たり前前の光景になっています。今回の調査の中で、ファミリー層の結果から注目したい傾向として挙げられるのは、撮影シーンの多様化。“ハレの日”の撮影だけでなく、“日常”もこどもの成長を追い掛ける重要なシーンとして今時のパパママは考えているようです。こどもと過ごす日常を、デジタル一眼レフサイズを持って追いかけるのは、パパママにとって負担が大きいことから、小型一眼の購入意向が多い結果につながったのではないのでしょうか。

図9. デジタル一眼カメラで何を撮影したいですか？(n=669)

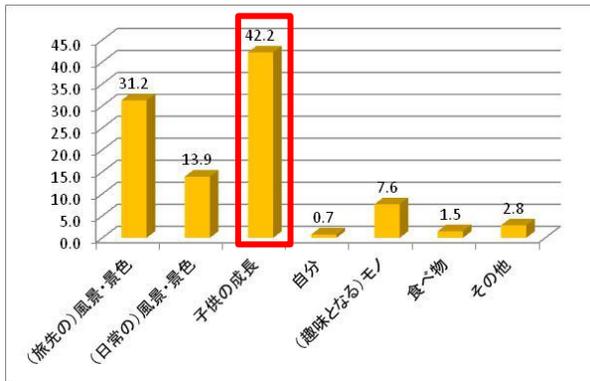
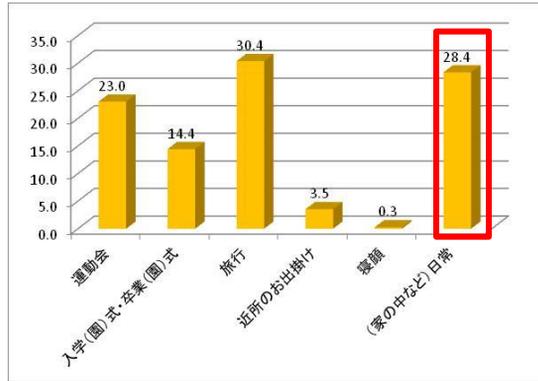


図10. 子供のどのような瞬間を撮影したいと思いますか？(n=395)



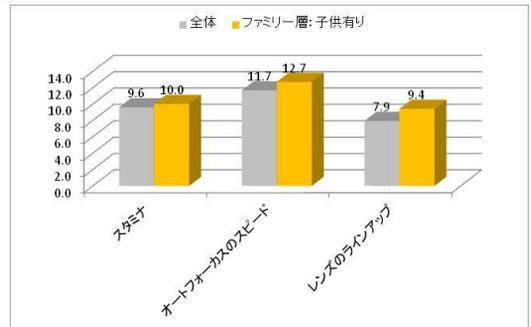
ファミリー層の小型一眼購入のポイントは「オートフォーカスのスピード」！

ファミリー層はカメラの撮影に関して、「一瞬を逃さないこと」(次ページ図12)への難しさを一番感じているようです。今回の調査でも、ファミリー層が小型一眼カメラ購入のポイントとして、全体の数値より上回っているのは、「オートフォーカスのスピード」、「スタミナ」、「レンズのラインアップ」(右グラフ)。特に「オートフォーカスのスピード」はこどもが見せる一瞬の動きや表情を押さえないというパパママの気持ちが伺えます。

いつでも撮影でき、瞬間的に訪れる良い写真を高画質で残しておきたいという、カメラの機能に対して欲張りな意識がファミリー層に増加してきているのではないのでしょうか。

図11. どのようなポイントがあれば小型(ミラーレス)一眼カメラを購入したいと思いますか？

(全体n=1500/シニア層n=600/ファミリー層n=669/若年層n=600)



家族旅行や運動会などの“ハレの日”はもちろんのこと、ちょっとしたお出掛けや日常の中にも、カメラを常に持ち歩くファミリーが増えてきています。遊んでいる様子や、食事時の様子、うれしがっている笑顔や、真剣に見つめる眼差し、困った顔、泣き顔など、子どもが日常に見せる表情は、その一瞬だけのもの。そんな日常を大切に切り取って残しておきたいと思っているパパママたちがたくさんいます。そのためにも、いつでも携帯できるコンパクトで、性能がよいデジタル一眼カメラを求めるパパママが増えていきます。

特に最近顕著なのが、撮影にこだわるママたち。せっかくの成長の写真をステキに残したいと、構図やアングル、ピントの合わせ方などにもこだわって撮影するママたちが急増中です。子どもの寝姿だけでもかわいいけれど、寝ている周りにちょっとおちゃめにいたずらした“寝相アート”も流行中です。ランチ時などのママ会でも、撮影した写真を見せ合って盛り上がるということもあるようです。そして、こどもって、自分の写真を見るのが大好き。写真を見ながら「こんなに小さかったんだね」なんて会話するなど、子どもとのコミュニケーションツールとしても、カメラはもはや欠かせない存在ですね。



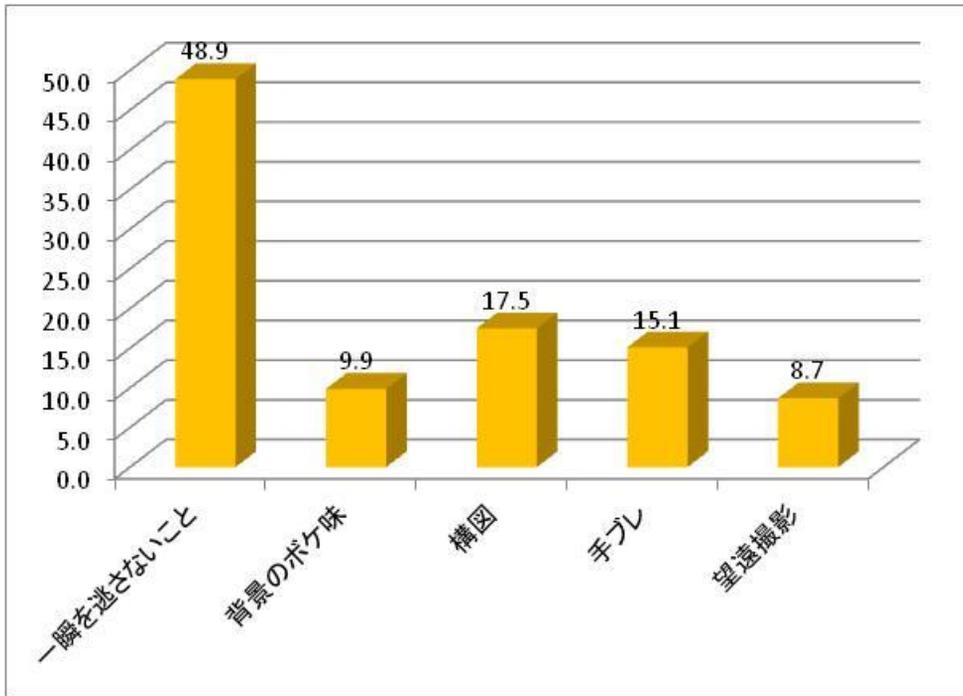
育児情報誌「miku」編集長・子育てアドバイザー
(株)ブライト・ウェイ
高祖 常子氏

妊娠・出産・育児雑誌などの編集・ライティングや、パパママ講座の講師などを行う。インターネット「こそだて」編集長。育児情報誌「miku(ミク)」編集長。NPO法人ファザーリング・ジャパン マザーリングプロジェクトリーダーほか。http://www.kosodate.co.jp/miku/

カテゴリーごとのデジタル一眼カメラ購入に関するポイント

【ファミリー層】

図12. カメラを撮影するにあたり、難しいと感じることは何ですか？(n= 669)



カテゴリごとのデジタル一眼カメラ購入に関するポイント

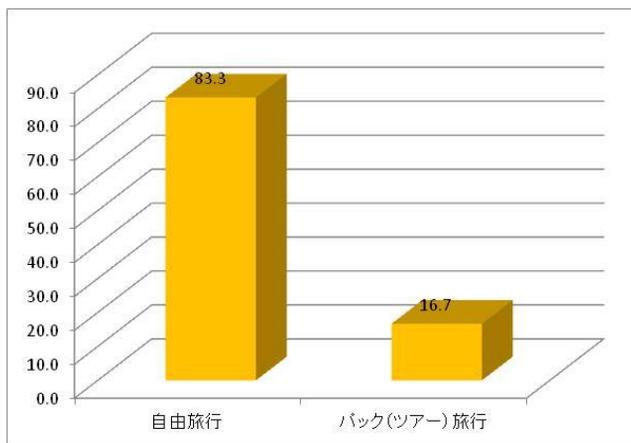
【シニア層】

アクティブシニアのデジタル一眼カメラは、小型一眼が主流に！？

前述の通り、小型一眼カメラの購入意向は各カテゴリの中で最も高い「シニア層」。この層は団塊の世代が中心となり、元気で自分なりの価値観を大切にする「アクティブシニア層」とも呼ばれています。従来の中老年層に対するイメージは、社会からリタイヤした元気のない消費者のイメージが強かったですが、アクティブシニア層は元気でお金を持っており、既成概念に捉われず、自分の価値観に見合うものを消費する傾向が高いと言われています。

今回の調査で、「シニア層」のカメラと同様、人気の趣味のひとつ、旅行に関しても、「パック(ツアー)旅行」よりも自分で手配する「自由旅行」の回答が圧倒的に多い結果となりました。アクティブに、自由に旅行や余暇を楽しむ現在のシニア層には、従来のシニア層の家電に弱いというイメージは全く感じられません。効率的に高画質な写真撮影する為に、持ち運びが大変なデジタル一眼レフカメラよりも、小型一眼カメラを求める傾向が高いようです。

図13.「自由度が利く自分で手配した旅行」と「パック(ツアー)旅行」のどちらで旅行に行きたいと思いますか？(n=294)

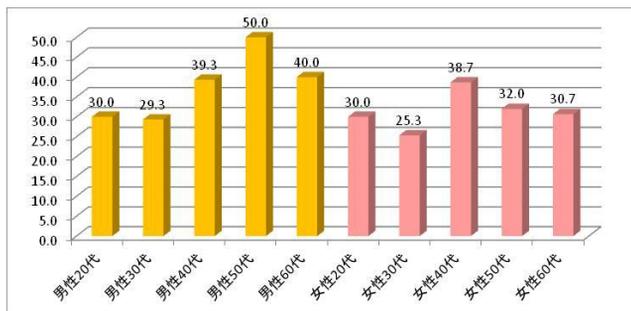


シニア層の男性は、小型一眼に「レンズ」を求める！

シニア層の小型一眼購入にあたり、重視するポイントとして注目したいのが「レンズのラインアップ」。画質など、デジタル一眼レフと同等の性能を持っていても、より撮影の楽しみを増やすレンズの種類にまだ満足ができていないようです。

カメラメーカー各社の小型一眼が出揃ったことで、今後ボディのみならず、レンズの拡充もされていけば、自身の価値観を重視するシニア層の小型一眼に対する支持はより大きくなるのではないのでしょうか。

図14.どのようなポイントがあれば小型一眼カメラを購入したいと思えますか？という質問に「レンズのラインアップ」と回答(n=525)



主に余暇の時間を利用して写真撮影を楽しむ方が多いシニア層のユーザー(団塊の世代の上のシニア層)は、三脚を使い静物を被写体にして撮影するように、じっくりとカメラの機能を駆使するケースが多く、またフィルムカメラ時代からのアドバンスユーザーも多いです。今日のシニア層はアクティブシニアと呼ばれ、従来のカメラに対する考え方は変わってきているようです。自分の価値観を大事にするアクティブシニア層の中で、特に新たにカメラを始める方は、自分の行動スタイルに合った機種を選択する傾向が強いです。インターネットにもアレルギーは少なく、より良い自分に合ったカメラをインターネット上で検索することも当たり前になりつつあります。レンズの絞り値設定や露出補正などマニュアル設定の方法がわかりやすい機種など、店頭に行く前の事前情報で、小型一眼を候補として挙げているユーザーも多くなってきました。

また旅行先にカメラを持ち歩くことも多く、体力的にカメラサイズの軽量コンパクトという点は選択肢の中では大きな比重を占めています。モニター画面の大きいものやコマンドダイヤルの見やすさなどもはっきりとわかりやすいものが好まれる傾向で、コンパクトで操作感もわかりやすい小型一眼カメラがこの層には支持されていきそうです。



フォトグラファー、フォトララ代表
瀬川陣市氏

旅写真やウェブ用商品撮影を得意とする。撮影の傍らカメラのあるライフスタイルを探求するフォトライフ・コンシェルジュとして写真の楽しみ方を広めている。オールアバウト写真撮影ガイドをはじめウェブや雑誌等での撮影ガイドの執筆、監修なども数多く担当。企業や団体からの依頼による撮影講座も多く受けている。新刊に「デジカメ旅写真便利帳」(秀和システム)など撮影テクニック本などの著書も多数。http://www.facebook.com/SegawaPhoto

《小さく、速く、美しく。一眼の楽しさを何もあきらめない、小型軽量デジタル一眼カメラ『NEX-5R』》

商品の特長

■本物の一眼の美しさをお逃さない速さで
-APS-Cクオリティ&ファストハイブリッドAF-



シルバー ブラック ホワイト

【進化した有効約1610万画素「Exmor(エクスマオ)」APS HD CMOSセンサー】

『NEX-5R』には進化した有効約1610万画素の高解像度「Exmor(エクスマオ)」APS HD CMOSセンサーを採用。小型・軽量ボディに、一般的なデジタル一眼カメラと同じAPS-Cサイズの大型イメージセンサーを搭載し、美しいぼけ味、豊かな階調表現、暗所でも低ノイズでクリアな画質を実現しています。また、描写力に優れたEマウントレンズがさらに充実し、レンズ交換による一眼ならではの多彩な表現を楽しめます。

【高速・高精度を両立した「ファストハイブリッドAF」】

合焦精度の高いコントラスト検出方式AFに加え、動く被写体への追従性と高速性に優れた位相差検出方式AFを新たにイメージセンサーの撮像面に搭載。ふたつのAF方式を併用した「ファストハイブリッドAF」により、フォーカスの速度と精度を両立。さらに、動きのあるシーンでは位相差検出方式AFで被写体にピントを合わせ続けるなど、撮影シーンに応じて最適なAFを使い分け、高速かつ高精度なピント合わせをサポートします。

■いつも持ち歩ける小型・軽量デザイン

-洗練された小型・軽量ボディ&パワーズーム搭載標準ズームレンズ-

【コンパクトカメラ並みの小型・軽量ボディ】

APS-Cサイズの大型イメージセンサーが生み出す一眼画質に徹底的にこだわりながら、いつでも持ち歩けるデジタル一眼カメラを目指した『NEX-5R』。一眼レフカメラに特有のミラーやペンタプリズムをなくしたミラーレス構造と小型「Eマウント」を採用することで、タッチパネルを搭載しながらも、ぎりぎりまで無駄を削ぎ落としました。ボディ単体の重さがわずかに約218g(*1)の小型・軽量ボディを実現したデジタル一眼カメラです。

(*1) 本体のみ。バッテリーとメモリースティック PRO デュオ*を含んだ質量は約276gになります。

【従来の約半分(*2)まで薄くなった新標準ズームレンズ】

『NEX-5R』のキットレンズとして新たに開発された標準ズームレンズE PZ 16-50mm F3.5-5.6 OSSは、リトラクタブル機構を採用し、従来の標準ズームレンズ(*3)の約半分(*2)の約半分まで薄型化に成功。全長約29.9mmの軽量・薄型レンズは、カメラ本体に装着したままでもカバンにコンパクトにおさまり、より持ち運びやすくなりました。

(*2) E 18-55mm F3.5-5.6 OSSとの比較。

(*3) E PZ 16-50mm F3.5-5.6 OSSの単品での販売は2013年1月を予定しています。

■Wi-Fiですぐつながるアプリで楽しみ広がる

-「Wi-Fi対応ワイヤレス通信」&PlayMemories Camera Apps-

【撮ったその場で、写真を共有・保存「Wi-Fi対応ワイヤレス通信」】

“α”で初めて「Wi-Fi対応ワイヤレス通信」機能を搭載。撮った写真をその場でスマートフォンやタブレットにダイレクト転送(*4)したり、PCにワイヤレスで保存したりと、写真の共有、鑑賞、保存までが快適に行えます。

(*4) “PlayMemories Mobile”は、すべてのスマートフォン・タブレットで動作を保証するものではありません。電波環境やスマートフォン側の性能により、モニタリングや録画中にWi-Fiが切断されることがございますが、再度接続することにより、引き続き機能を継続してお使いいただくことができます。

【アプリでカメラが進化する“PlayMemories Camera Apps”】

好きな機能を自由に追加できる“PlayMemories Camera Apps”に対応。ピクチャーエフェクトに新たに6つの表現が加わった「ピクチャーエフェクト+」や、スマートフォンやタブレットをリモコンにしてカメラを操作できる「スマートリモコン」(*5)、Wi-Fi経由でSNSなどに写真をアップロードできる「ダイレクトアップロード」など、さまざまなアプリをWi-Fi機能やPCを使ってダウンロードして、カメラを自分のスタイルで進化させられます。

(*5) PlayMemories Mobile Ver.2.0以降との組み合わせで利用できます。

《“α”Eマウント用交換レンズが追加ラインアップ》



コンパクトながらもパワーズームを搭載した新標準ズーム

『SELP1650』



Eマウント初の超広角ズーム

『SEL1018』



高性能単焦点レンズ

『SEL35F18』



高性能をコンパクトに。表現の幅を広げるEマウント

交換レンズ群 **13本** (*6)

(*6) コンバージョンレンズ含む

《撮るたびに、ただ夢中になれる。洗練のクオリティーがここにある。『NEX-6』》

商品の特長



■撮影者の想いに応える洗練された操作性

-高解像度と高コントラストを誇る、「XGA OLED Tru-Finder(トゥルーファインダー)」-

【すばやく直感的に操れる、洗練された操作性】

よりすばやく、より直感的にカメラを操作できるように、ボディ上面にモードダイヤルとコントロールダイヤルを重ねて配置。さらに、シャッターボタンの横にFn(ファンクション)ボタンを設置しました。2つのダイヤルやボディ背面のコントロールホイールを組み合わせることで、撮影モードの設定をはじめ、絞りやシャッタースピードを表現意図に合わせてすばやく設定できます。さらにファインダー撮影時に、Fn(ファンクション)ボタンを押すだけで、ダイレクトに設定を変更できる「クイックナビ」も搭載。『NEX-6』は、撮影者の意図を直感的な操作でスピーディーに反映できる、デジタル一眼カメラです。

【ダイレクトに設定を変更できる「クイックナビ」】

ファインダー撮影時に、シャッターボタンの横に設置されたFn(ファンクション)ボタンを押すだけで、ダイレクトに設定を変更できる「クイックナビ」を搭載。撮影情報画面でカメラのパラメーターを一覧できるだけでなく、直接設定の変更が可能。メニュー画面から階層を経る必要がなく、撮影意図を迅速に反映できます。また、ライブビュー時にはFnボタンで使用頻度の高い項目にすばやくアクセス可能です。

【高解像度と高コントラストを誇る、「XGA OLED Tru-Finder(トゥルーファインダー)」】

XGA有機ELを採用した、高解像度・高コントラストの電子ビューファインダー「XGA OLED Tru-Finder(トゥルーファインダー)」を搭載。「XGA OLED Tru-Finder」だから実現できる約235.9万ドットの圧倒的な解像度、自発光方式ならではの忠実な黒を再現する高コントラスト。高輝度下・低輝度下でも白とび・黒つぶれを抑え、より自然な見た目と正確な発色で、被写体の細部に至るまで表示します。また、高い解像度を生かした多彩な画面表示や画面を拡大しての微細なピント合わせにも威力を発揮。さらに、視野率約100%はもちろん、広視野角、ハイアイポイント約23mm。ファインダーの明るさ調節機能や視度調節ダイヤルを搭載するなど、見やすさを追求した高性能電子ビューファインダーです。



■撮る喜びを追求した高品位なデザイン

-ディテールまでこだわり、一眼らしいたたずまいを実現-

【一眼らしいたたずまいを実現したボディデザイン】

このカメラを手にした人がもっと自分らしい一眼ライフを楽しめるように、「撮る喜び」を追求した『NEX-6』。従来一眼カメラに近い操作性を備え、ボディ上面に2つのダイヤルを重ねて配置。ダイヤル操作で撮影モードの設定から各モードに応じた露出調節までが即座に行え、瞬時に意図を反映できます。また、「マルチインターフェースシュー」を採用し、フラッシュなど幅広いアクセサリに対応。さらに、ホールド感を高めたグリップや高級感のあるシボ加工により、上品なボディに仕上がっています。

【表現の幅をさらに広げる「マルチインターフェースシュー」採用】

新開発の「マルチインターフェースシュー」を採用。大光量フラッシュHVL-F60M(別売)に対応し、高度なライティングを手軽に実現できます。また、静止画はもちろん、「ハンディカム」の豊富な動画用アクセサリも活用可能。汎用アクセサリにも対応する高い互換性を備え、撮影領域をさらに広げます。



HVL-F20AM

フラッシュ【別売】

ワンタッチでバウンス撮影を楽しめるスタイリッシュな小型フラッシュ

ADP-MAA

シューアダプター【別売】

■本物の一眼の美しさをおろそかにしない速さで

-APS-Cクオリティー&ファストハイブリッドAF-

【有効約1610万画素“Exmor(エクスマオ)”APS HD CMOSセンサー】

イメージセンサーを独自開発するソニーだからこそ実現した、圧倒的な解像力と高感度性能を誇るAPS-Cサイズの大型センサー“Exmor(エクスマオ)”APS HD CMOSセンサーを搭載。αレンズの描写力を余すところなく受け止める高い解像力は、雄大な風景のディテールまで描写し、ポートレートの髪の本1本本まで被写体を細部にわたり緻密に再現します。また、「オンチップカラムAD変換」や「デュアルノイズリダクション回路」など、ノイズを徹底的に抑制し、高画素化と低ノイズ化を高い次元で両立しました。

【高速・高精度を両立した「ファストハイブリッドAF」】

『NEX-6』には、従来のコントラストAFに加え、イメージセンサー上に配置された像面位相差AFセンサーによる位相差AFを併用した新開発の「ファストハイブリッドAF」を採用。ふたつのAF方式を組み合わせることで、フォーカス速度と精度を両立。さらに動きのあるシーンでは、位相差AFで被写体にピントを合わせ続けます。撮影シーンに応じて最適なAFを使い分け、高速かつ高精度なピント合わせをサポートします。

《撮るたびに、ただ夢中になれる。洗練のクオリティーがここにある。『NEX-6』》

商品の特長

■Wi-Fiですぐつながるアプリで楽しみ広がる

-「Wi-Fi対応ワイヤレス通信」&PlayMemories Camera Apps-

【その場で共有・保存できる「Wi-Fi対応ワイヤレス通信」機能】

『NEX-6』には「Wi-Fi対応ワイヤレス通信」機能を搭載。
撮った写真をその場でスマートフォンやタブレットにダイレクト転送^(*)したり、
PCにワイヤレスで保存したりできます。写真の共有や鑑賞、保存が快適です。

(*) スマートフォンやタブレットに「PlayMemories Mobile」がインストールされている必要があります。
「PlayMemories Mobile」は「Google Play」または「App Store」から入手できます。
※「PlayMemories Mobile」は、すべてのスマートフォン・タブレットで動作を保証するものではありません。
電波環境やスマートフォン側の性能により、モニタリングや録画中にWi-Fiが切断されることがございますが、再度接続することにより、引き続き機能を継続してお使いいただくことができます。



【好きな機能を追加できる「PlayMemories Camera Apps」】

好きな機能を自由に追加できる「PlayMemories Camera Apps」に対応。
ピクチャーエフェクトに新たに6つの表現が加わった「ピクチャー
エフェクト+」や、スマートフォンやタブレットをリモコンにしてカメラを操作できる
「スマートリモコン」^(*)、Wi-Fi経由でSNSなどに写真をアップロードできる
「ダイレクトアップロード」など、さまざまなアプリをWi-Fi機能やPCを使って
ダウンロードして、カメラを自分のスタイルで進化させられます。

(*) PlayMemories Mobile Ver.2.0以降との組み合わせで利用できます。



《“α”[Eマウント]用交換レンズが追加ラインアップ》



コンパクトながらもパワーズームを
搭載した新標準ズーム

『SEL1650』



Eマウント初の超広角ズーム

『SEL1018』



高性能単焦点レンズ

『SEL35F18』



高性能をコンパクトに。
表現の幅を広げるEマウント

交換レンズ群 **13本** ^(*)

(*) コンバージョンレンズ含む